

昨年度から引き続き、週に2回、おお組(年長)さんと過ごす。朝の自由遊びの時間に、芸術士コーナーとして木工遊びを展開中。現状、くぎ打ち体験とポンドを使いチョットしたものを作る程度なのだが、いつも「今日はトンカチ出来るん?」と聞いてくる子がいる。ある日、その子と話をしていると「大きくなったら大工さんになって〇〇先生の家建ててあげる」と言っていた。僕自身も小さい頃、将来の夢が大工さんだったので何だか懐かしく思えた。主に遊びに来る子は決まっているが、みんなトントン、カンガムの音が大好きで、知らぬ間に寄ってきている。今後、材料の幅を広げて自由な制作コーナーに出来ればと思案中。保育所のカリキュラムに沿い、制作の補助、給食、午睡の時間も出来る限りこどもたちと過ごし、なるべく同じ目線で話をするようにしている。七夕飾りの制作中、面白い塊が出来ていたので「ろみあかりプロジェクト」にからめて海の生き物を作ってみようという話に、かいじゅう親子や指人形、海に浮かぶ島など色々な方向のテーマに枝分かれしていった。保育所の制作の中で生まれてくる色々な「つぶやき」を拾い、制作コーナーに盛り込んでいくのが今後の課題である。



カラカラカエルだ。お湯に入れたらもどるかなあ



さら粉の宝庫。階段下の秘密基地。



将来のゆめは大工さん。



べたべたポンドおぼけ。



紙粘土で「カラフルだんご」



ゆびにんぎょうズ